



West Endと Off West Endの違い

今回はWest Endのミュージカルの現場についてお話し致しましたが、今回はOff West End(プリンジシアター = 中、小規模の劇場)と比べてお話ししたいと思います。

大体のWest Endミュージカル商業劇場は、照明機材をほとんど持ち合わせていません。あるのは、昔ながらのカウンターウェイトのサスバトン(電動のサスバトンがあるのは、大きなバレエ&オペラハウス、国立劇場、新築劇場のみ)と、常設電源回路と、ビクトリアスタイルの豪華な客席だけです。ですので、新しいミュージカル、演劇をこの手の劇場で打つたびに、レンタル会社から照明、音響すべてをレンタルしてきます。つまり、会場は公演を受け入れる器のみです。新作を打つのはキャメロン・マッキントッシュ氏のような、大物プロデューサーの方々です。資金はプロデューサーのビジネスマネーとチケットの売り上げで、成り立っています。

Off West EndはWest Endの枠に入らない小、中型のプロフェッショナル劇場です。West Endに比べたら規模は小さいけれど、基本的な照明機材、音響機材をかね揃えているので、工夫すれば少ない予算で、フレキシブルにいろいろな種類の公演を打てます。Off West End劇場は自分達で、新しい演目をプロデュースすることもあれば、会場を外部の劇団、集団に貸し出すこともよくあります。資金のほとんどは、国の援助金を頼っています。

West End = ロンドン中心の行政、商業、文化施設が集中している地区のことを示す言葉ですが、アメリカのブロードウェイのように、ロンドンのミュージカルという意味でWest Endとよく使われます。オペラハウス、国立劇場等は一様、West Endの地区内にはあるのですが、それらの公演はWest End(公演の種類)とはあまり呼ばれな

いようです。

国立オペラハウス、国立劇場はWest Endミュージカル劇場とは異なって、凄まじい量のムービングライトや一般照明を会場自身もっています。それらの照明は大体、常に決まった場所に吊られていて(General Plan劇場基本プラン)、新しい公演が来るたびに、その決まった定位置から、シュートをし直して、使い回しをします。そういう面では日本でも一緒なのではないでしょうか。プロデュースは、ほぼ劇場自身が新しい演目を打ちます。

私は個人的に演劇を見る上では、Off West Endで観劇の方が好きです。Off West Endの方が、舞台の規模が小さいにも関わらず、いろいろな工夫が発見できるからです。たとえば、客席の形を公演によって変形できる劇場が多いので、そのステージと客席の形に対応した演出と照明の面白みが見えてきます(これについては次回のエッセイでお話ししたいと思います)。

オペラ、ミュージカルWest Endは、スケールの大きさと、完成度の質で見ええがあって好きです。お金をかけている分、オペラ歌手、オーケストラはトップクラスですし、セットやコスチュームのディテールに凝っています。チケットも大体、West Endの方がOff West Endの2~4倍くらいします。

West Endも(国立劇場も)、Off West Endの照明デザインも、両方手がけている大物照明デザイナー、ポー

ラ・コンスタブルさん。彼女のWest EndでのデザインとOff West Endでのデザインをいくつか見比べてみると、どちらともとても素晴らしく、数千人が入る客席でも、ステージへの距離を感じさせませんでした。彼女がデザインを手がけたWest Endのミュージカル/演劇“War Horse”は感動的な場面が頭に焼き付くような、印象的な、そして斬新な照明でした。そして彼女が手がけたOff West Endでの演劇“オセロ”では、小さなステージにも関わらず、ステージの外の空間の広さを感じさせた照明でした。つまり、照明で空間の大小、重さ軽さをうまく操っていたのです。一見、照明家にとって、当たり前のことのように聞こえますが、これをどんなスケールの劇場でも成すということは、とても簡単なことではありません。

ポーラさんのそばで1週間研修をさせてもらっていた、照明家の友達に聞きました。すると彼は、「ポーラは常に、ほしい明かりを知っている。50台の灯体のレンズの角度が少しでも気に入らなかつたら、きっぱり50台すべて、レンズを変えて言うんだよ。迷いなし。もう1つの彼女の特徴は、常に彼女は照明を削ることに努める。照明がシンプルであればある程、見え方は劇的になると。」足し算派より、引き算派ということです。公演の規模が大きくなればなるほど、引き算は難しくなるはずですが、彼女はリスクを追ってでも、あえて一筋の照明を当てる勇氣があり、説得力のある照明をどんなスケールでも作れる照明家なのだなと思いました。



Royal Opera House



The Yard Theatre